

開殘甲第六編

元當使士族稻田邦植訴訟引合中ノ諸費御下付

ノ義伺

一金八百三拾四圓五拾錢

右者元當使士族稻田邦植北海道日高國靜内郡支配中營
繕廢止ニ付愛知縣士族加藤義造要償金ノ訴訟ニ付明治
六年ヨリ同十三年落着迄邦植引合ノ爲支消候諸費書面
之通御下付願出无別紙判決文ニ引合人邦植ノ入費ハ自
費タルベシト有之候ハ原被ノ間ハ償却ヲ要セサルノ謂
ヲ指稱候義ニテ舊支配地ノ事務即チ公務上ノ引合ニシ
テ私事訴訟ニ無之邦植於テ自辨スヘキ筋ニ無之候間特
殊ノ御詮議ヲ以テ別途御下付相成候様仕度願書相添此
段相伺候也

開拓使殘務取扱御用係

明治十五年二月九日

西郷從道

太政大臣三條實美殿

伺ノ趣ハ舊開拓使定額金ノ内ヲ以テ之
候儀ト心得

明治十五年三月三十日



開殘甲第七号

開拓使殘務經費豫算ノ儀伺

開拓使殘務取扱經費ノ儀亦月九日不取敢及上申御指
令ノ趣モ有之候ニ付テハ新任者ニシテ殘務取扱候モ
ノ月俸ハ月俸規則第十一条第十一条ニ依リ新任ノ廳ニ
於テ結シ殘務ニノ係ル旅費其他勉勵賜金等ハ殘務
費ヲ以テ支結候儀ト心得豫算調成致度此段相伺候也

開拓使殘務取扱御用係

明治十五年二月廿日

西郷從道

太政大臣三條實美殿